

4年間総まとめ

6

防災対策にも積極的に取り組みました

地震や風水害など避けられない自然災害に対する対応や備えは、命を守るために重要なことです。

実現！

防災士の取得

防災活動には、専門知識と訓練が必要です。資格を取得するとともに、地域での実践にもつながって行きます。



防災士

登録
小柳 嘉文

実現！

木崎自治会
防災倉庫の設置

木崎地区は広いエリアであり、地域の中心部での防災倉庫の存在は地域の防災力の充実にとって不可欠です。



➡

木崎自主防災組織の方々が中心となり調整が進められた結果、実現できたものです。

提案！

通電火災防止器具への
補助の推進

大規模地震の際の被害として、特に浦和区においては甚大な火災被害が想定されています。通電火災の防止のための器具の活用は、安価なものもあって普及は有効であり、推進するべきと考えます。



➡

平成27年2月には国が感震ブレーカーの性能評価ガイドラインも発表。電気火災の発生抑制に向けた検討会でも推進が検討されています。

これからも

地域の皆さまと
ともに、歩みます！

小柳よしふみ地域活動2011-2015

自転車の安全について
街頭アンケートしました。毎年5月30日(ごみゼロ)は
ごみゼロキャンペーンの日です。与野本町のサイクルステーション。
ぜひ活用を！さいたまシティマラソンがフルマラソン
化になれば、ぜひ挑戦しなければ！餅つきもこの4年間で
大分腰が入ってきました！この4年間で被災地ボランティア
には12回伺っています。祭りだ！祭りだ！子どもたちにも
受け継ぎたい伝統です。日頃の備えが大事！
防災訓練には多数参加しました。

「後援イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

E-mail info@koyanagi.jp
ホームページ http://koyanagi.jp/
ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F
TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-32331F「理容うらわ」の2F
小柳よしふみ事務所
●ミヤモト薬局
●武蔵野銀行
●リアルホーム
●パルコ
●埼玉りそな銀行

さいたま市議会 民主党さいたま市議団 http://www.minshu-saitamacity.jp/

こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2015.3 vol.16小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

2011～2015

本会議質問

委員会質問

質問総数

小柳よしふみの活動記録！

5回

14回

130問

皆さまの想いととも

走り抜けた4年間

2011年5月1日にさいたま市議会での歩みを始めてから、まもなく4年となります。あっという間という印象ですが、充実した時間を過ごさせて頂きました。

小柳よしふみの活動の原点は、皆さまの声です。地域の問題や市政における政策課題として、皆さまの声を原点に活動してまいりました。同時に、浦和で育ち、地域で企業の経営をし、父としてこの街で子育てをしている現役世代の一人としても、議会で声を挙げてまいりました。また、その根本をなす市の財政に関しても、関心を持って取り組んでまいりました。

子どもたちや子育て世代が輝く街は、活気のある街になります。高齢者が経験や知恵を活かしてイキイキ活躍できる街は、元気な街になります。地域の商工業の担い手に活力がある街は、勢いのある街になります。そして、何よりも私たちの務めは、子どもや孫の世代が明るく希望を持って過ごすことができるような社会を、しっかりと作って引き継いで行くことです。

こういった視点から走り抜けた、これまで4年間の活動をまとめてみました。4年間16定例会の中で、本会議質問5回、委員会質問14回、総計130問の質問をさせて頂きました。地域の具体的な課題にも取り組んできました。その成果と活動の記録です。

このように活動できましたのも、多くの皆さまにお支え頂き、多くのチャンスを頂いたことに尽きます。改めまして心より御礼申し上げ、謹んで活動のご報告をさせて頂きます。

4年間お世話になりました。
これからも頑張ります！

4年間総まとめ

1

地域の安全のために…

ちょっとした対策で、重大な事故などを未然に防ぐことができます。子どもたちから高齢者まで、地域の安全をしっかり守ります。

カーブミラーの
設置スマイルロードの
整備本太地下道の
改修赤山通りの
安全対策どんぐり山
安全ポールの補修

私は実績で勝負する。これまでも、これからも。

小柳よしふみは4年間で多くの政策課題に取り組み、成果をあげてきました。これからも皆さんの声を市政へ届け、より暮らしやすいさいたま市をつくります。

4年間総まとめ

2

子どもたちのために…

子どもたちが健全に育ち、子育てしやすい街は、活力あふれる街になります。子育て支援の充実は、街の将来を決める大切な施策と考えます。

実現！

私立保育園への補助金交付時期の改善

平成25年度より、それまで11月以降であったのを5月に。これにより、年度初めの設備整備や職員賞与への対応が可能になります。その後、清算方法なども簡素化し保育園の環境整備に貢献しています。

➡ (平成24年12月定例会本会議質問)

実現！

通学路の横断歩道の移設

新設されたマンションから多くの子どもたちが通学ようになった道路の横断歩道が不便であり、交通指導員の方々からも危険を指摘されていました。



➡ 子どもたちの登下校がスムーズに安全になりました。

実現！

前地第2公園の安全対策

公園への入り口通路が急な坂で危険であり、またベビーカーなどは通行も困難でした。



➡ スロープをなだらかにし、ベビーカーの通行も可能に。

前進！

プレーパーク(冒険遊び場)の常設実現

自然と触れ合う遊びから学ぶことが大きいことは、誰もが実感しているもの。さまざまな規制がある公園ではなく、より子どもたちが自由に育つ場所を作ります。



➡ これまで、プレーパークは、臨時かつ制限付きで開催されてきました。来年開設する(仮)子ども総合センター内に冒険遊び場の常設が決定。今後は、市内の公園内での常設を実現したいです。

4年間総まとめ

3

高齢者のために…

高齢者の知恵や経験が生かされ、地域でイキイキと活動できる環境づくりは街の活力に。

前進！

三世代での子育ての推進

高齢世代の子育て経験者の経験や子育ての知恵が生かされ、施設を作って入所してもらう方法以外の子育て支援の在り方を提案しています。孫との時間は祖父母を元気にし、両親は子育ての負担の軽減にもつながります。

➡ お孫さんの育成に祖父祖母の参画の推進
(平成27年度予算(案)三世代子育て応援事業)



改善前
before



改善後
after

実現！

仲本荘の看板、表示板などの設置、改善

仲本荘の案内板の表示の改善と、案内板の新設により、案内表示が分かりやすくなりました。また、建物の表示も、高齢者に見えにくい同系色の表示を見やすい色に改善しました。

4年間総まとめ

4

地域経済活性化のために…

地域の商店は、街の顔でもあります。また、街の将来へわたる市の財源確保のためには、地域経済の活性化はとても大切なことだと考えます。

実現！

ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの誘致

スポーツ観光事業による地域活性化を進めている中で、大きな試みの一つ。大きな集客力を使った地域経済への波及効果を、より実現する必要があります。収支改善など課題もありますが、可能性を秘めた事業であります。



➡ 地域経済への波及効果の追求と全市的なイベントにして行くとともに、財政負担を軽減して行く必要があります。

実現！

商店街の街路、看板など環境整備

きれいな商店街に人は集まります。環境整備を行う事で商店街の魅力を高めるとともに、買い物の満足度や店主の事業意欲を高めることは重要です。



前進！

サイクルポートの設置

荒川サイクリングロードに、各地から集まるたくさんのサイクリストたちを市街に呼び込む情報拠点の設置は有効です。地域の活性化に繋がてまいります。

➡ サイクルポートの設置へ向けた調査費用を予算計上しました。(平成27年度予算(案))

4年間総まとめ

5

住環境を守るために…

住みやすい、子育てしやすい、商売しやすい環境は、長い年月の間地域で守ってきた大切な財産であり、時代の変化を乗り越えて、次の世代に引き継いで行くべきものと考えます。

実現！

葬祭場等設置要綱の改定

民間事業所が出来るということは、地域への民間企業の投資であり喜ばしいこと。要綱の改訂により、地域と事業者の共存共栄の関係を築くベースとなることを望みます。

(平成26年9月定例会本会議質問)

➡ 要綱改訂され、平成27年9月施行されます。

提案！

公園整備の促進

公園面積の国の基準一人当たり10㎡に対して、本市の現状は5㎡。子育て環境、住環境、防災の観点からも、公園設置面積の増加は急務です。合わせて、子ど

もたちが遊べて、スポーツができる公園、広場の確保も重要です。

提案！

将来の適正な環境づくりのための用途地域の再検討を求める

現在の用途地域の骨格が決まってから、40年以上経っています。現状、マンションなどの建築などの紛争が頻発する中で、今後の土地の活用について再検討する必要があると考えます。

➡ 用途地区の再検討も含めて、さまざまな手法の中で、住みよい環境を守るための対策を取って行きます。
(平成26年12月まちづくり委員会)